

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2014 年度

事業報告書



わたしが変わる。
未来が変わる。

2014 年度 事業報告書

目次

● 2014 年度 総括	1
● 事業実施報告	
1. 教育プログラム	5
2. 成人のトレーニング	9
3. 組織と運営	11
4. 社会との関係	13
5. 会員	16
6. 財政	17
● 2014 年度民間助成金	18
● 2014 年度世界連盟への寄付	18

2014 年度 総括

2014 年度は、「ガールスカウトブランド」を全会員で共有し普及するための取り組みを始め、全会員による発信を開始した。5 月の第 86 回定時総会での活動基本方針の発表の後、10 月には、日本連盟公式ホームページのリニューアルによるイメージの刷新を行った。これ以降、コミュニケーションロゴとキャッチフレーズの使用を開始した。

また、2013 年度末に発表した冊子『女の子はもっと伸びるー未来を担う少女たちに今必要なチカラと環境』（『女の子はもっと伸びる』冊子）をもとに、プログラム面での充実を目指し、指導者の意識改革、プログラムの開発への取り組みを進めている。

社会への影響を高めるために、積極的に体験的活動への参加者を増やす取り組みを実施し、2014 年度は、126,738 人の会員外の方が活動に参加した。

①「少女のニーズ」と「社会のニーズ」にあったプログラムの開発と指導者の育成

- 年長部門のためのプログラム開発とそれを支援する指導者の育成
 - ・大好きなわたし～Free Being Me～プロジェクト（以下 FBM）、WAGGGS Leadership Development Programme などの経験を生かし、年長部門、ヤングエイジのためのプログラム開発をはじめた。
 - ・シニアキャンプでは、「科学（サイエンス）」の視点を取り入れた活動を、長野工業高等専門学校との協力により実施した。
 - ・『女の子はもっと伸びる』冊子の補助教材を発行した。また、この内容を具体化するプログラム開発、指導者の姿勢の浸透を図った。
- 国際プログラムの開発
 - ・ガールスカウト大阪府連盟が長年支援をしているミャンマーにおいて、ガールガイドミャンマー連盟が復活した。2013 年度に同連盟が始めたミャンマーのガイドとの国際交流キャンプに全国のガールスカウトが関われるようになった。
 - ・成人会員を WAGGGS などのプログラムに多数派遣し、国際的なプログラムを体験する成人を増やした。
 - ・内閣府をはじめ、他団体が主催する国際プログラムへの参加者を増やすための取り組みをおこなった。
- プログラムの見直しおよび指導者の育成
 - ・バッジ取得数をもとに活動への取り組みを分析し、取り組みが少ない分野についての取り組みを促進する教材の開発をはじめた。
 - ・指導者に、ファシリテーターとしての役割を意識づけるために、トレーナーセミナーをはじめ、機関誌などでもこのことを取り入れた。
 - ・指導者の研修の機会を多様化するため、機関誌購読による指導者研修単元取得の方法を導入した。また、機関誌の記事を活用した研修の実施を促した。

②新規会員増および、会員継続率向上ための広報活動の充実

- ガールスカウト活動で培われた力の発信
 - ・ガールスカウト日本連盟公式ホームページ、Facebook などに、会員の活動の発信を強化した。
 - ・他団体が主催する事業での活動発表を積極的に行い、ガールスカウト活動で培われた力を発信する機会を多数設けた。
- テンダーフット部門の拡大
 - ・「ともだち増やそう作戦」の3年目を迎え、各団で12月から3月にかけての体験集会への取り組みが増えてきた。
 - ・テンダーフット部門の会員数は、2013年度（522人）、2014年度（546人）と年を追うごとに増えてきている。
 - ・2014年度末には、45都道府県連盟でテンダーフット部門の設置があり、この部門への取り組みの拡大がみられる。
- 大学生年代の開拓
 - ・前年に引き続き、大学の単位取得に結びつく取り組みを行ったが、取り組み校の増加には至らなかった。

③都道府県連盟と日本連盟の運営力の強化

- 2015～2017年目標と戦略の検討
 - ・2015～2017年の目標と戦略の検討をおこない採択した。2014年5月に発表した、活動基本方針に基づき、行動することを目標とした、『団』『都道府県連盟』『日本連盟』の取り組みを明示した。
 - ・2020年の会員数を4万人にすることを目標とし、日本連盟全体を挙げて取り組むことを目指している。
- 都道府県連盟訪問
 - ・予定していた13府県連盟の訪問をすべて実施し、事業開始より計19府県連盟の訪問を終了した。
 - ・初年度の2013年度の取り組みの評価から、県連盟自身が訪問前の準備として自ら連盟の現状分析をすることから始まり、事後の活動プランの立案など、主体的な取り組みが進んだ。
 - ・訪問者側も訪問地で会員からの声に耳を傾け、日本連盟の運営力強化に結び付けられるよう訪問地で得た情報について理事会での共有を図った。
- 日本連盟の事業運営方法の改変
 - ・委員会制度の見直しをおこない、新体制の委員会で事業運営に臨んだ。
 - ・当初事業毎の実行委員による事業実施を目指したが、十分に実行委員が集まらず、特に少女対象の事業を安全に、また十分な教育的効果を高めるように実施することに困難な状況も見られた。
 - ・インターネットを活用した会議などを促進し、東京に集まらずに会議を開催す

るなど時間の有効活用と情報の共有を進めることができた。

- ・理事会においては、書類のペーパーレス化を図るとともに、効率よく情報共有や意見交換が行えるように、インターネット上のサービスを複数活用した。
- ・トレーナーについても、インターネットを活用した情報共有に取り掛かり始めた。

● 日本連盟事務局の強化

- ・事務局職員の業務目標を所属グループの目標、日本連盟全体の目標とより関係づけ、期待役割の明確化を図っている。併せて期間を通じて目標のPDCAを月次会議、面談等で回し目標達成をめざしている。
- ・特に今期は目標の達成レベルを向上させるために、行動能力要件（コンピテンシー）の強化が必須であることから、グループ員、管理職に求められる要件を定め、自己評価、上長評価までを行ない、今後能力向上に努めていく。

● 都道府県連盟との情報共有の促進

- ・広報説明会をはじめ、さまざまな機会に日本連盟の状況を都道府県連盟に伝えた。

● 会員データベースの拡充

- ・会員データベースの精度を高め、2015年度からの本格活用に向け、一部表彰等の事務作業の効率化のための利用をはじめた。
- ・会員登録状況を毎月都道府県連盟へ共有した。

④社会への発信力の強化

● ガールスカウトブランドの発信

- ・少女と若い女性の視点での情報収集、調査結果を含んだ「女の子はもっと伸びる」の冊子の発行は、会員内外にガールスカウトの存在意義を表明することにつながった。
- ・10月からコミュニケーションロゴ及びキャッチフレーズの使用を開始し、日本連盟公式ホームページのリニューアルをおこなった。
- ・広報説明会を全国5カ所で6回開催し総勢251人の参加があり、会員全員でガールスカウトブランドを発信できるように準備を始めた。
- ・広報説明会の後、新たにFacebookの開設や、ブログを再開した県連盟や団もあり、具体的行動が始まっている。

● 内部コミュニケーションの拡充

- ・年間3回の広報イベントによる全国共通テーマでの取り組みの発信により、広報資料の活用が進んだ。
- ・活動基本方針、コミュニケーションロゴとキャッチフレーズの開発にともなう広報説明会（全5カ所6回）、都道府県連盟訪問（全13カ所）、Stop the Violence研修（全8カ所）、組織拡充理事等派遣（全10回）の活用により、日本連盟と会員間のコミュニケーションが拡大した。

- 社会との関係の強化

- ・ 2011年より取り組みをはじめた **Stop the Violence** キャンペーンでは、内閣府をはじめ都道府県市町村の男女共同参画担当課との関係が強化され、このキャンペーンの促進が進んだ。また、**WAGGGS** が始めた新たな連携により、**UN Women**、国際ゾントクラブと協力を最大限に生かせるようにする。このテーマにおけるガールスカウトの地位が確立されつつあり、他の団体より声をかけられる頻度が増えた。
- ・ **WAGGGS** 関連の事業で関係ができた企業（ユニリーバ、メットライフ）の国内事業所とプログラム面での連携を開始した。
- ・ ガールスカウト会館の 30 周年を祝したガールスカウト会館の公開イベントをはじめ、地域の団体による会館の活用が進み、地域における関係の構築も促進している。

⑤ 財政基盤の確立

- 寄付金、助成金の増強と新規開拓

- ・ 助成金団体を新規開拓し、新たに 2 団体からの助成を得ることに成功した。
- ・ **WAGGGS** 関連の多様な助成金を活用することができた。
- ・ 2013 年度にスタートした「みらい募金」について、1 年目の目標を達成することはできたが、その後の目標達成に苦戦している。
- ・ 「遺贈」のパンフレットを作成し信託銀行遺贈担当者へ配布した。

- 教育施設（ガールスカウト会館、戸隠ガールスカウトセンター）を活用したプログラムの開拓

- ・ ガールスカウト会館では、少女用プログラムを活用した成人対象のセミナー（大人の **FBM**）の実施、インターネットを活用した外国との共同事業の開催などを試みた。
- ・ 戸隠ガールスカウトセンターでは、ガールスカウト会員内外からの参加者を得、大人のキャンプを開催し、新たな視点でのプログラム開発をはじめた。また、地元の教育機関の協力を得、新たなプログラムの開発も進めることができた。

次ページより、具体的活動を掲載します。

1. 教育プログラム

事業名	ガールスカウトギャザリング地区大会（参加者総数 528 人）	
地区名 () は担当県連盟	実績	
北海道・東北地区 (山形県連盟)	期日	8 月 1 日（金）～8 月 3 日（日）
	会場	山形市蔵王温泉 ホテル松金屋アネックス
	人数	60 人（シニア 19 人、レンジャー15 人、成人会員 16 人）
北関東地区 (長野県連盟)	期日	9 月 13 日（土）～9 月 15 日（月・祝）
	会場	戸隠ガールスカウトセンター
	人数	107 人（シニア 39 人、レンジャー27 人、成人会員 35 人）
南関東地区 (山梨県連盟)	期日	11 月 1 日（土）～11 月 3 日（月・祝）
	会場	富士吉田市立青少年センター
	人数	104 人（シニア 49 人、レンジャー17 人、成人会員 38 人）
北陸・東海地区 (石川県連盟)	期日	8 月 8 日（金）～8 月 10 日（日）
	会場	金沢市キゴ山ふれあいの里
	人数	66 人（シニア 28 人、レンジャー20 人、成人会員 18 人）
近畿地区 (奈良県連盟)	期日	8 月 23 日（土）～8 月 24 日（日）
	会場	国立曽爾青少年自然の家 研修室
	人数	66 人（シニア 28 人、レンジャー20 人、成人会員 18 人）
中国・四国地区 (徳島県連盟)	期日	12 月 13 日（土）～12 月 14 日（日）
	会場	四国三郎の郷
	人数	58 人（ジュニア 2 人、シニア 26 人、レンジャー10 人、成人会員 20 人）
九州・沖縄地区 (大分県連盟)	期日	8 月 16 日（土）～8 月 18 日（月）
	会場	ホルトホール大分および大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家
	人数	67 人（シニア 28 人、レンジャー20 人、成人会員 18 人、 会員外の青少年 1 名）

事業名	2013 年度ガールスカウトギャザリング全国大会 事後活動発表
期日	2015 年 3 月 25 日（水）
会場	衆議院第 2 議員会館 第 1 会議室
発表グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピープロジェクト」（南関東地区） ・「ガラクタの山をタカラの山にプロジェクト」（北陸・東海地区） ・Happy 手洗い運動-Happy Washing Hands Project（京都府連盟）

事業名	シニア全国キャンプ
期日	8月3日(日)～8月6日(水)
会場	戸隠ガールスカウトセンター
参加人数	341人(シニアスカウト288人、成人会員53人(コアメンバー含む))

事業名	国際理解支援事業
実績	<海外研修渡航費補助> 5件(452,000円) 北海道連盟、東京都連盟、山梨県連盟、大阪府連盟、奈良県連盟 <国際紹介状の発行> 17都道府県連盟 174人

事業名	ピースプロジェクト Greener×Greener II
期日	年間
実績	<ul style="list-style-type: none"> 平和のための寄付金 488,297円(2014年度) ピースプロジェクト Greener×Greener バッジ 770枚(都道府県連盟からの申請数の合計) 環境保全のための活動: 会員3,496人、一般6,069人 農業体験: 会員2,824人、一般623人

事業名	ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト
期日	12月27日(土)～2015年1月2日(金)
派遣先	ミャンマー ネピドー
参加人数	少女会員 18人 成人会員 12人

事業名	USA 連盟協働プログラム (USA Girl Scouts Overseas-West Pacific Journey To Japan Destination)
期日	7月19日(土)～7月21日(月・祝)
会場	ガールスカウト会館他
参加人数	USA スカウト 17人 レンジャー 17人

事業名	ガールスカウト Stop the Violence キャンペーン
内容	<p>デートDV啓発キャンペーン 7,104人へ普及</p> <ul style="list-style-type: none"> STV バッジ: 212人 マイボイスシート: 3,844人 内閣府男女共同参画局「女性に対する暴力をなくす運動」におけるパープルライトアップへの参加: 225人 イベント: 1,733人(内部483人、外部1,260人) 指導者研修会: 1,090人

指導者研修会（参加者総数 287 人）		
地区名 （）は協力県連盟	実績	
北海道・東北地区 （北海道連盟）	期日	11月9日（日）
	会場	道民活動センター かでる 2.7
	人数	49人（49人 一般0人）
北関東地区 （栃木県連盟）	期日	12月21日（日）
	会場	とちぎ青少年センター
	人数	33人（33人 一般0人）
南関東地区 （山梨県連盟）	期日	2015年1月25日（日）
	会場	山梨県立文学館
	人数	53人（53人 一般0人）
北陸・東海地区 （岐阜県連盟）	期日	2015年3月1日（日）
	会場	ふれあい福寿会館
	人数	26人（25人 一般1人）
近畿地区 （大阪府連盟）	期日	2015年2月21日（土）
	会場	難波別院 南御堂
	人数	37人（27人 一般10人）
中国・四国地区 （鳥取県連盟）	期日	2015年2月22日（日）
	会場	倉吉未来中心
	人数	35人（33人 一般2人）
九州・沖縄地区 （宮崎県連盟）	期日	11月24日（月・祝）
	会場	佐土原総合文化センター
	人数	21人（21人 一般0人）
九州・沖縄地区 （鹿児島県連盟）	期日	2015年2月1日（日）
	会場	かごしま県民交流センター
	人数	33人（21人 一般12人）

事業名	ワールドシンキングデイ
期日	2015年2月22日周辺
テーマ	「私たちはパートナーシップによって平和を築ける」
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドシンキングデイ オンラインイベント開催（2015年2月22日（日） ガールスカウト会館）：参加者 66人 Ustream アクセス 90件 ・日本連盟公式ホームページに特設ページ開設 ・日本連盟 Facebook 内に「パートナーシップ」イベントページに都道府県連盟、団活動を掲載

事業名	WAGGGS-Dove Project 「大好きなわたし ～Free Being Me (フリービーイングミー) ～プロジェクト」	
期日	2014年9月から2016年3月	
会場	全国各地	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の作成 ・日本連盟公式ホームページ内にFBMのプロジェクトページを開設 ・指導者研修会：全国56カ所1,548人 ・取組み人数 6,061名 	
	大好きなわたし～Free Being Me～トレーナー研修会	
	期日	9月20日(土)～21日(日)
	会場	日本青年館
	人数	32人
	レンジャー対象ピアエデュケーター養成講座(研究事業)	
	期日	9月23日(火・祝)
	会場	ガールスカウト会館
	人数	20人
	「オトナのFree Being Me」(ユニリーバとの協働プログラム)	
	期日	1月28日(水)
	会場	ガールスカウト会館
人数	30人(会員15人、一般15人)	

事業名	メットライフプロジェクト 金融教育プログラム
期日	2014年8月～2015年8月
実績	アメリカ連盟とのパートナーシップにより、アメリカのメットライフ財団から助成金を受けて、少女に金融教育を提供するプログラムの試行について協力県連盟を募集し、以下の6県連盟に決定。神奈川県連盟、長野県連盟、愛知県連盟、高知県連盟、大分県連盟、宮崎県連盟

事業名	戸隠ガールスカウトセンター夏期プログラム
期日	7月19日(土)～8月31日(日)
参加人数	利用グループ：23グループ 宿泊利用人数：1,989人 日帰り人数：263人 ディレクター12人、スタッフ36人

事業名	地域支援事業
実績	沖縄県連盟

事業名	ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』（№40～№42）の発行
実績	ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』 №40 10,500部 ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』 №41 10,500部 ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』 №42 10,400部

事業名	教材等の出版・頒布
-----	-----------

委員会名	プログラム開発特別委員会
実績	年5回開催 研究事業 年2回実施（12/23、3/29）（近畿地区対象：神戸市青少年会館）

委員会名	教育・指導者委員会
実績	年3回開催

2. 成人のトレーニング

事業名	トレーナーセミナー
第1回	
期日	8月29日（金）～8月31日（日）
会場	戸隠ガールスカウトセンター
参加人数	トレーナー 21人、都道府県連盟役員 0人
第2回	
期日	12月6日（土）～12月7日（日）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数	トレーナー 111人、都道府県連盟役員 0人

事業名	ガールスカウトトレーナー認定講習会・審査会
期日	2015年1月11日（日）～1月12日（月・祝）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター／ガールスカウト会館
参加人数	プログラムトレーナー 10人

事業名	プログラムトレーナー認定審査会
第1回	
期日	8月23日（土）

会場	大阪市立青少年センター（KOKOPLAZA）
参加人数	トレーナー候補者 6人
第2回	
期日	2015年1月10日（土）
会場	ガールスカウト会館
参加人数	トレーナー候補者 4人

事業名	海外研修（成人）	
本部派遣プログラム		
Free Being Me トレーニング	期日	6月10日（火）～6月17日（火）
	会場	サンガム
	人数	成人会員1人、職員1人
アジア太平洋地 域リーダー会議 2014	期日	11月30日（日）～12月5日（金）
	会場	メルボルン大学ユニバーシティカレッジ
	人数	成人会員 7人（実行委員 2人）
Stop the Violence キャンペーンの ためのトレイニ ングセミナー	期日	12月13日（土）～17日（水）
	会場	サンガム
	人数	成人会員8人、職員1人
ジュリエット・ ローセミナー 2015	期日	2015年2月9日（月）～14日（土）
	会場	サンガム
	人数	成人会員1人

事業名	リーダー養成講習・指導者研修
期日	年間
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成講習 136回（47都道府県連盟で開催） ・指導者研修 274回（31都道府県連盟で開催）

事業名	指導者の派遣
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成講習へのトレーナー派遣3回（石川県連盟、高知県連盟、） ・指導者研修へのトレーナー派遣1回（高知県連盟） ・ミャンマー連盟への指導者の派遣：10月11日（土）～13日（月）（トレーナー2人、サポートリーダー4人、職員1人）

事業名	トレーナーへの支援
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーナー養成システムの検討

事業名	『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』（№24～№25）の発行
実績	『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』№24 5,900部 『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』№25 5,900部

委員会名	指導者育成特別委員会
実績	年3回開催

3. 組織と運営

会議名	連盟長会議
期日	11月15日（土）～11月16日（日）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数	91人（47都道府県連盟）

事業名	都道府県連盟訪問事業		
実績	訪問連盟先	期日	研修参加者数
	滋賀県連盟	6月7日（土）～6月8日（日）	62人
	徳島県連盟	6月15日（日）～6月16日（月）	18人
	愛知県連盟	6月28日（土）～6月29日（日）	85人
	三重県連盟	7月5日（土）～7月6日（日）	34人
	栃木県連盟	8月23日（土）～8月24日（日）	38人
	群馬県連盟	9月15日（月・祝）～9月16日（火）	62人
	島根県連盟	9月27日（土）～9月28日（日）	20人
	広島県連盟	9月27日（土）～9月28日（日）	21人
	京都府連盟	10月4日（土）～10月5日（日）	67人
	宮城県連盟	10月17日（金）～10月18日（土）	50人
	奈良県連盟	10月25日（土）～10月26日（日）	79人
	新潟県連盟	11月29日（土）～11月30日（日）	38人
	沖縄県連盟	2015年2月21日（土）～2月22日（日）	33人

事業名	組織拡充のための理事等派遣
実績	都道府県連盟への派遣 10回：大分県連盟、静岡県連盟、栃木県連盟、石川県連盟、山形県連盟、長野県連盟、東京都連盟、神奈川県連盟、南関東地区、福岡県連盟

会議名	評議員会
期日	12月13日（土）
会場	ガールスカウト会館

会議名	顧問会
期日	12月6日(土)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター

会議名	フレンズ オブ ザ ボード
期日	2015年1月17日(土)
会場	ガールスカウト会館
参加者数	27人

会議名	理事会・理事連絡会
期日	理事会 年5回/理事連絡会 年8回開催
会場	ガールスカウト会館

会議名	理事研修
期日	9月13日(土)～9月14日(日)
会場	ガールスカウト会館

会議名	監査
期日	5月10日(土)
会場	ガールスカウト会館

会議名	第86回定時総会
期日	5月24日(土)
会場	ガールスカウト会館

会議名	第35回世界会議への出席
期日	7月5日(土)～7月9日(水)
会場	Regal Airport Hotel (香港)
人数	成人会員4人、職員1人(正代表2人 オブザーバー3人)

委員会名	戦略検討特別委員会
実績	年17回実施

委員会名	調査研究特別委員会
実績	ガールスカウトを取り巻く社会情勢の収集

委員会名	組織・運営委員会
実績	年2回実施 ネットパトロールの実施

事業名	事務局の強化
-----	--------

4. 社会との関係

事業名	2015年4月以降の都道府県連盟広報のための説明会（参加者総数 251人）		
	A	期日	12月13日（土）
		会場	大阪会場：難波御堂筋ホール（大阪市）
		人数	59人（9府県連盟）
	B	期日	12月21日（日）
		会場	福岡会場：福岡工業大学（福岡市）
		人数	62人（10県連盟）
	C	期日	2015年1月24日（土）
		会場	東京会場①：ガールスカウト会館
		人数	48人（14都県連盟）
	D	期日	2015年1月25日（日）
		会場	宮城会場：エル・ソーラ仙台（仙台市）
		人数	25人（5県連盟）
	E	期日	2015年2月8日（日）
		会場	東京会場②：ガールスカウト会館
		人数	32人（7都道県連盟）
	F	期日	2015年2月14日（土）
		会場	岡山会場：ウィズセンター（岡山市）
		人数	25人（8県連盟）

事業名	ガールスカウトのPR
実績	<p><ガールスカウトの日></p> <p>5月22日前後の土曜日・日曜日に全国で実施 テーマ：girls worldwide say “教育はすべての少女と少年の未来への扉を開く” 少女会員 5,988人、成人会員 3,793人、 一般少女 5,346人、一般成人 7,426人が参加。</p> <p><国際ガールズ・デー：10月11日（土）></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際ガールズ・デー イベント「わたしが変わる。未来が変わる。～女性が輝く社会に向けて～」(会場：ガールスカウト会館)をUstreamで配信：参加者22人、アクセス数96件

	<p><ワールドシンキングデイ：2015年2月22日（日）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワールドシンキングデイ オンラインイベント」を開催、ネパールとスカイプ中継し Ustream で配信（会場：ガールスカウト会館）：参加者 66人 アクセス 90件 ・日本連盟公式ホームページに特設ページ開設
--	---

事業名	広報資料の作成
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新チラシ 110,000枚 ・新小冊子 25,000部 ・アニュアルレポート 2014 10,000部 ・2015年カレンダー 10,000部 ・2015年スケジュール帳 4,550部

事業名	ホームページ等の運営
実績	日本連盟公式ホームページ訪問者数：242,749人 10月リニューアル

事業名	東日本大震災支援プロジェクト	
支援金	2014年度に寄せられた支援金総額 992,438円	
プログラム名		
「いきるちから」キャンプ	期日	8月1日（金）～8月3日（日）
	会場	戸隠ガールスカウトセンター
	人数	138人 内訳：小学生 61人（会員 37人・一般 24人）、シニア（5人）成人会員 10人、スタッフ 62人
ガールスカウトキャラバン	期日	8月8日（土）～8月10日（月）
	会場	盛岡市立区界高原少年自然の家（岩手県連盟主催「いきるちからキャンプ in いわて」）
	人数	96人
	期日	2015年2月21日（土）～22日（日）
	会場	国立磐梯青少年交流の家（福島県）
	人数	68人
	期日	2015年3月22日（日）
会場	いわて県民情報交流センター「アイーナ」（岩手県）	
KIZUNA DAY	人数	93人
	期日	2015年3月11日（水）
	会場	全国各地
	人数	2,643人「KIZUNA Day」取り組み報告より

		(会員：1,169人、一般1,474人)
KIZUNA Line	実績	Facebook ページへの「いいね」 861人
岩手県連盟・宮城県連盟・福島県連盟の県連盟への支援		
事業名		
「ガールスカウトの日2014 被災地バスツアー」	主催	宮城県連盟
	期日	5月31日(日)
	会場	宮城県南沿岸部
	人数	76人
「ガールスカウトふれあいの日」	主催	岩手県連盟
	期日	5月11日(日)
	会場	いわて県民情報交流センター「アイーナ」
	人数	55人
「いきるちから キャンプ in いわて」	主催	岩手県連盟
	期日	8月8日(土)～10日(月)
	会場	盛岡市立区界高原少年自然の家
	人数	96人
「ハーベストリポート&ふれあい広場」	主催	岩手県連盟
	期日	2015年3月22日(日)
	会場	いわて県民情報交流センター「アイーナ」
	人数	93人
全国大会等 参加助成	実績	シニア全国キャンプ(宮城県連盟 1人)
登録費補助	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全額補助 (岩手県連盟25人、宮城県連盟52人、茨城県連盟2人、千葉県連盟5人) ・半額補助 (福島県連盟308人)

事業名	社会との連携
実績	<他団体事業(国際交流事業)への推薦> ・内閣府青年国際交流への推薦 派遣決定者5人 ・独立行政法人国立青少年教育振興機構主催「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」への推薦 派遣決定者10人
	<他団体との事業連携> ・プラン・ジャパン「読書感想文コンクール」 ・「スタンド・アップ・テイク・アクション」(動く・動かす)

	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界一大きな授業」教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) ・「春のキッズフェスタ」「秋のキッズフェスタ」(国立青少年教育振興機構) ・出会いと体験の森へ実行委員会 第四期事業担当 ・内閣府男女共同参画局・地方自治体とパープルライトアップで共働し、ガールスカウトの暴力防止啓発活動をアピールした。 ・ケア・インターナショナル「歩く国際協力 Walk in Her Shoes」 (レンジャー10名：東京4人、茨城1人、神奈川2人、静岡1人、兵庫2人がジュニア・アンバサダーとして活動)
	<p><ガールスカウト推進議員連盟総会> 期日：2015年3月25日(水) 会場：衆議院第2議員会館 第1会議室 人数：国会議員15人 代理出席26人 ガールスカウト参加者数：発表者9人、成人会員7人、職員4人</p>
	<p><ミセスウェストン祭> 主催：戸隠観光協会 期日：8月2日(土) 会場：戸隠キャンプ場 ウェストン碑前 参加人数：15人(いきるちからキャンプ参加福島県連盟担当)</p>

5. 会員

事業名	テンドーフット部門入会促進キャンペーン「ともだち増やそう作戦」
実績	46都道府県連盟 560カ団 体験集会 1,462回実施

事業名	2014年度日本連盟 表彰	
実績	功労章	桐章 7人 菊章 13人 梅章 21人
	永続奉仕章	60年 1人 50年 17人 40年 117人 30年 169人 25年 204人 20年 273人 10年 455人
	善行章	1人
	団永続章	60年 7カ団 50年 17カ団 40年 46カ団 30年 16カ団 25年 15カ団 20年 9カ団 10年 1カ団
	連盟永続章	50年 1連盟

事業名	会員継続率向上のための取り組み
実績	高校3年生年代へのチラシの作成 など

事業名	会員データベースの運営
実績	月末に前月末締めของ会員数を都道府県連盟に共有

6. 財政

事業名	ガールスカウト会館の管理運営
実績	<ガールスカウト会館 30 周年記念イベント「ガールスカウト会館まつり」: 9月28日(土) > 参加人数: 345人

事業名	戸隠ガールスカウトセンターの管理運営
-----	--------------------

事業名	戸隠ガールスカウトセンター春期・秋期利用
期日	春期: 4月29日(火・祝) ~ 7月14日(月) 秋期: 9月1日(月) ~ 11月10日(月)
会場	戸隠ガールスカウトセンター
参加人数	春期: 宿泊利用 346人 日帰り利用 70人 秋期: 宿泊利用 120人 日帰り利用 13人

事業名	需品頒布事業
-----	--------

事業名	賛助会員トレフォイルの集い
期日	9月27日(土)
会場	ガールスカウト会館
参加人数	44人

委員会名	財政検討委員会
実績	年2回開催

委員会名	財務委員会
実績	年4回開催

2014 年度民間助成金

助成団体	事業名
一般社団法人霞会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外研修本部派遣 ・ 海外研修県連盟派遣事業補助 ・ 第 35 回世界会議派遣
独立行政法人国立青少年教育振興機構（子どもゆめ基金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ Stop the Violence キャンペーン指導者研修会
公益財団法人三菱 UFJ 国際財団	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト
一般社団法人東京倶楽部	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト
公益財団法人かめのり財団	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト
ガールガイド・ガールスカウト世界連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大好きなわたし ～Free Being Me（フリービーイングミー）～ プロジェクト ・ AP 友の会 3L プロジェクト 若い女性のためのセミナー（研究事業） ・ AP 友の会 30%ベネフィット ミャンマーフレンドシッププロジェクト ・ AP 地域リーダー会議交通費補助 ・ Stop the Violence キャンペーンのためのトレーニングセミナー参加費、渡航費助成 ・ 世界連盟世界会議青年代表交通費助成
サンガム Amy Bush 基金	サンガムボランティアスタッフ
MetLife 財団・アメリカ連盟	メットライフプロジェクト 金融教育プログラム

2014 年度世界連盟への寄付

基金名	金額	備考
国際友愛基金	2,244,563 円	
サンガム指定寄付金	268,039 円	
相互援助計画のための基金	0 円	支援プロジェクト未定のため